

令和元年10月10日

各会員の皆様へ

鹿児島港中央港区開発推進協議会
会長 柴立 鉄彦

令和元年度鹿児島港中央港区開発推進協議会総会の 開催結果について（お知らせ）

秋冷の候、貴社いよいよご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和元年度鹿児島港中央港区開発推進協議会総会を10月7日（月）に開催しましたところ、多くの会員にご参加いただき感謝申し上げます。

総会においては、平成30年度協議会活動実績及び令和元年度活動計画（案）等について承認していただきました。

さて、臨港道路鴨池中央港区線と旧木材港区の埋立は、この地区の街づくりに大きな影響がありますが、臨港道路については他事業のケーソン製作ヤードとして南港を使用し作業船の運航に支障となるため、事業期間を2026年度まで4年間延伸されました。また、旧木材港区については、20ヘクタールのうち16ヘクタールについて本年度から13年かけて埋め立てを行い、県民や観光客が集う交流施設を整備する方針が示されました。

総会当日は、県の担当者から臨港道路鴨池中央港区線と旧木材港区の埋立についても説明が行われ、会員の皆さんから活発な質疑がなされました。

その中で、旧木材港区の土地利用計画については、埋立完了後の社会情勢等を踏まえながら検討する旨の方針が示されたことから、この地区の発展につながるような整備が行われるよう引き続き要望活動を行うことが必要であると考えています。

今後とも、各種講演会や研修会等を通じて臨海部開発に関する知識の修得に努めるとともに、関係機関との意見交換会等も計画してまいりますので、会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

※ 総会の議事録及び当日の写真は、鹿児島木材産業協同組合ホームページ
(<http://www.kamokusan.or.jp/>) に掲載してありますのでご覧ください。

不明な点等ありましたら、協議会事務局（鹿児島木材産業協同組合
（Tel 099-268-3111、Fax 099-268-3113 担当：脇、入佐）までご連絡下さい。